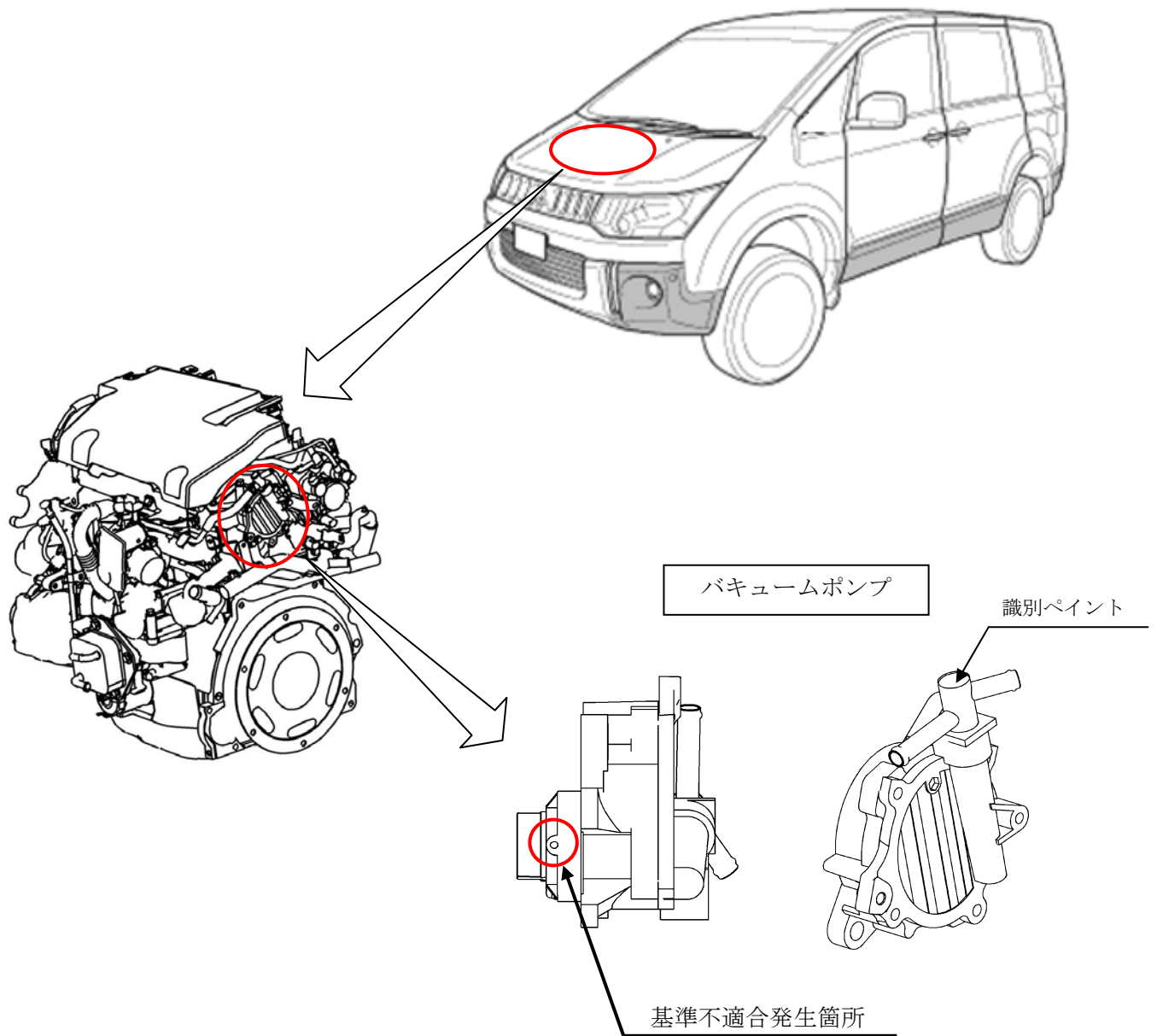


改善箇所説明図



バキュームポンプにおいて、組み付け作業が不適切なため、ポンプのオイル給油穴にシール剤が浸入することがある。そのため、バキュームポンプ内のオイルが不足し、油膜によるシール性低下から負圧不足となり、最悪の場合、ブレーキペダルの操作力が増大し、制動距離が長くなるおそれがある。

改善の内容

全車両、バキュームポンプを新品に交換する。なお、シリンダーヘッドのバキュームポンプへの給油穴を点検し、シール剤が残っている場合は除去する。

注：図中の 内は確認、交換する部品を示す。

識別：バキュームポンプの上部に、白または黄色のペイントを塗布する。